

黒澤西蔵翁の主な足跡（年表）

年 次	事 柄
<出生から渡道>	
1885(明治18)	茨城県世矢村生まれ(現・常陸太田市)
1900(同 33)	東京の神田数学院・正則英語学校で苦学
1901(同 34)	田中正造の明治天皇への直訴後、足尾鉍毒被害民救済運動に挺身
1905(同 38)	母の死を機に渡道を決意、宇都宮牧場の牧夫見習い
1909(同 42)	キリスト教の洗礼、酪農家として独立
1982(昭和57)	2月7日永眠
<教育活動>	
1933(昭和 8)	北海道酪農義塾創設
1942(同 17)	野幌機農学校設立
1948(同 23)	野幌高等酪農学校(通信教育)設立 北海道酪農青年研究連盟の設立を後援(現・現日本酪農青年研究連盟)
1949(同 24)	酪農学園大学部設立
1950(同 25)	酪農学園短期大学設立
1954(同 29)	北海道農業教育振興会会長
1957(同 32)	(財)酪農育英会設立
1958(同 33)	三愛女子高等学校設立
1960(同 35)	酪農学園大学設立
1971(同 46)	「田中正造全集」の出版決意
<産業活動>	
1925(大正14)	全道の酪農民を対象にした北海道製酪販売組合を創立(酪連に改組)
1926(同 15)	農業組合中央会道支会長(現・北農中央会)
1940(昭和15)	北海道興農公社社長
1950(同 25)	(株)雪印乳業相談役
1960(同 35)	北海タイムス社社長
<政治活動>	
1924(大正13)	道議会議員
1942(昭和17)	衆議院議員
1945(同 20)	日本協同党を結成、代表世話人
1946(同 21)	公職追放
1950(同 25)	公職追放解除
1951(同 26)	道知事選に立候補、落選(以後、直接的な政治活動を断つ)
<北海道開発活動>	
1923(大正12)	北海道畜牛研究会をつくりデンマーク農業を紹介
1924(同 13)	第2期拓殖計画を主導(牛馬100万頭計画)
1934(昭和 9)	北海道農業革新期成会を結成
1945(同 20)	戦災者北海道集団疎開100万人案を建言
1954(同 29)	北海道開発審議会会長(8期16年)

黒澤西蔵翁・・・生存者叙勲の受賞

1964年 勲3等旭日中綬章(酪農振興に尽力 79歳)

1970年 勲2等旭日重光章(北海道開発の推進 85歳)

1981年 勲1等瑞宝章(北海道開発の父、酪農学園の創立 96歳)